

四葉賞 - 「よいところ」を見つける練習 -

本日、令和5年度の前期終業式を迎えました。前期期間中、皆さんは体育祭や修学旅行などの学校行事や、部活動の大会・コンクール、各種作品展等で、集団や個々の成長を実感してきました。先日の表彰朝会や本日の表彰式で、数え切れないほど多くの生徒が呼名され、その代表生徒に私から賞状を手渡してきました。皆さんの頑張りの1つの成果です。

それに加え、本日は「四葉賞」の表彰がありました。四葉賞は、周りの人のために動くことのできる人を認めたり、そのような人を見つけることのできる視点を養ったりすることを目的に、今年度新たに始めた取組です。表彰の部門の設立をはじめ、四葉賞に関わることを生徒会が中心となって進めました。本当にありがとうございました。



ここでは「四葉賞」についてお話をしたいと思います。

まずは、四葉賞を受賞した9名の皆さん、受賞おめでとうございます。皆さんの笑顔が、学級や学年、学校を明るくしてくれています。常に周りをよく見て、仲間に対して優しい言葉をかけたり、場に応じて協力し、係活動などをてきぱきとこなしたりすることで、皆さんの学級や学年は、温かくて周りの人を大切にできる集団に育ってきているのだと思います。今回受賞したのは9名ですが、投票結果をみると、本当に多くの人々の名前があがっています。多くの人々の頑張りが、優しさ、思いやりを感じることができました。

将来皆さんは、社会に出ていきます。その際には、何かしらの仕事に就くことになると思います。就職の採用にあたり、採用する側が求めることの一例には「協調性」「責任感」があげられるそうです。社会の中でよりよく生きていく力や人間性を育むためにも、三尻中学校では、四葉賞の受賞者をどんどん増やしていきたいと考えています。

今年度当初の入学式と始業式では お話の内容を一部分だけ重ねていました。ですから、ここにいる全員が一度は聞いている内容です。読んでいきます。「人間誰でも、周りの人の「よくないところ」にはすぐに気が付きます。その反面、「よいところ」を見つけるのは、案外難しいことなのかもしれません。ですから、誰もがもっている「よいところ」を見つける練習を重ね、それを認める「目」や「心」を養うことが大切なのです。パナソニックの創業者である松下幸之助さんは「人の長所が多く目につく人は幸せである」という言葉を残しています。それは「長所（よいところ）」を認めつつ周りの人と接することで、人間関係がよくなり、自分自身の成長にもつながるからだということです。」

この内容が「四葉賞」にもつながっていきます。「四葉賞」は「よいところを見つける練習」でもあるのだと思います。最後に「四葉賞」という名称についてです。「四葉のクローバーを見つけると、見つけた人が幸せになれる」というお話を知っているでしょう。

「四葉賞」という名称には「学校生活の中でもたくさんの『四葉』を見つけてほしい」という思いが込められているのだと思います。後期でもたくさんの四葉を見つけてください。

明日からは3日間の秋休みです。気持ちを新たに後期のスタートを迎えましょう。令和5年度前期終業式の式辞は以上です。